



自治労連  
新聞

ふりーじあ

<http://www.jichirouren.jp>  
全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第58号  
発行日：令和7年2月3日  
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町 1-15-22 北区役所 B1 全連協事務所内 (03)3907-5177

## 第3回教育セミナー開催「労働組合の価値向上を目指して — 「労働組合をアップデートせよ」

令和7年2月1日、福岡市内において第3回自治労連教育セミナーを開催しました。教育セミナーでは第一部として「労働組合の価値向上」をテーマに労働組合が直面している課題や今後の運営方法について意見を交わし、組織の魅力を高めるためのポイントと労働組合の新たな可能性について株式会社スタメンの佐々木隆寛氏が講師を務め解説いただきました。第二部として「伝わる広報ワークショップ」として参加者28名が5つの班に別れ、魅力ある機関紙作りについて議論をかわしました。

### 【第一部】

第一部では株式会社スタメンの佐々木氏が、労働組合を取り巻く現状について触れ、賃上げや初任給の状況が注目される中、組合が抱える課題も多いと指摘しました。特に、組合活動が「自己犠牲」や「強制」に頼るものではなく、もっと魅力的で参加しやすい活動へと変わっていくことが求められていると強調。また、組織運営に関しては、会議への参加者不足や後任が見つからないといった問題が参加者から挙げられ、これらを解決するためには、組合の価値や活動の意義をしっかりと伝え、組合員との距離を縮めることが大切だと強調し労働組合の価値を高めるためには、次の3つの取り組みが必要だと佐々木氏は提案しました。



第一に、「デジタルシフト」、組合活動をデジタル化し、SNS やウェブサイトなどのツールを使って積極的に情報を発信することで、組合員とのつながりを深め、活動内容を広く伝えることができます。第二に、「広報活動の



強化」、組合活動をもっと見える化し、組合員や外部に対して積極的に発信することで、信頼感を高めることができます。そして第三に、「教育」の重要性も指摘されました。組合員に対して、組合活動の意義やメリットをしっかりと伝えることが大切で、組合がどのように自分たちの利益に繋がるのかを理解してもらうことが求められていると解説。また、組合活動を見える化し、定期的に振り返ることの重要性が強調されました。佐々木氏は、組合の収入が増えているか、新しい取り組みができているかを見直すことが、組織をさらに活性化させるポイントだと話しました。

セミナー参加者からは「組合離れ」や「組合費に対する不満」といった悩みが出されたものの、佐々木氏は、

組合のメリットや存在意義をしっかりと伝えるためのツールを準備し、情報を均一に発信する工夫が必要だとアドバイスしました。

セミナーの最後には、組合活動をより円滑にするためのコミュニケーションツールとして、アプリ「TUNAG」が紹介されました。このアプリは、組合員同士の連携をサポートし、活動の情報共有をスムーズに行うための強力なツールということで活用事例などを紹介いただきました。

今回のセミナーでは、労働組合の価値を高めるために必要な取り組みが明確になりました。デジタルシフト、広報活動、教育の充実を図ることで、組合の魅力をより多くの組合員に伝え、強い絆を築くことが求められます。組合活動をもっと魅力的にし、組織の未来を切り開くために、日々の活動を見直し、改善していくことが大切だと感じました。

## 【第二部】



第二部では組合員とのコミュニケーションを円滑にするための「伝わる・来なくなる新採用職員歓迎機関紙作成ワークショップ」を開催。ワークショップでは、参加者が5つの班に分かれて組合活動における重要なツールである機関紙を、より効果的に活用するためのアイデアを出し合い、実際に発刊されている機関紙を

持ち寄り、工夫点を比較しながら議論を行いました。各班では「分かりやすく伝えること」だけでなく、組合員が積極的に活動に参加し共感を得るためにはどうすれば良いかという視点で意見を交わし、「行動変容」を促す機関紙作成に取り組みました。特に新規採用職員に向けて、より魅力的に情報を伝える方法を模索し、以下のよう工夫が発表されました。

- **早期周知**: 新規採用オリエンテーション時に案内を配布、早期に周知。
- **先輩職員の協力**: 身近な各部署の先輩職員に案内を配布してもらう。
- **参加しやすさの工夫**: QRコードで出欠確認を簡単にし、参加しやすさを高める。
- **開催日程の配慮**: 歓送迎会と重ならない日程設定、職場に慣れ始める時期を選定。
- **タイトルやデザインの工夫**: 「Welcome Party」などフランクなタイトルを使用し、ラフでカジュアルなデザインに。
- **インパクトのある内容**: パワーワードを使い、参加者の関心を引く。
- **視覚的訴求**: 過去の歓迎会の写真や、参加職員の声を掲載し、参加意欲を高める。





発表後、栗田中央執行委員長は「皆さんの発表は非常に楽しく、斬新なアイデアが多く、思いもつかない発想がたくさんありました。機関紙のデザイン案も素晴らしい出来栄でした」と総評しました。

最後に、澤重副執行委員長兼教育宣伝部長より「今回の学びを組合活動に限らず、日常業務やプライベート活動にも活かして行ってほしい」とのメッセージが伝えられ、ワークショップは無事終了しました。



セミナー参加者のみなさん

#### 自治労連オープンチャットに参加しませんか？

自治労連 LINE オープンチャットでは、自治労連の活動や事業などといった情報を随時お知らせしています！

まだ参加されていない人は、右の QR コードから LINE オープンチャットへのご参加、ぜひよろしくお願いします。

